

英語教育 保育所から

山中湖小中加え一貫体制

山中湖村立の小中学校が文部科学省から「英語特区」に指定され、村は来年度、村内の保育所から中学校まで一貫した英語教育を始める。公立の保育所への英語教育の導入と中学までの一貫教育は県内で初めて。外国人旅行者の受け入れ態勢が整った国際観光地づくりを進めるため、英語を使いこなせる人材の育成を目指す。



来年度から

英語特区では、小中学校の「生活科」や「総合的な学習の時間」を英語教育に充てるなど、学習指導要領と異なる柔軟な教育が行えるようになる。村教委が昨年8月、山中小、山中東小、山中湖中の3校の特区指定を文科省に申請し、同12月に指定を受けた。

県内では山中湖村のほか、

教育関係者への事業説明会であいさつする高村文教村長

山中湖村役場

特区指定受け開始

山梨、都留両市の小学校が英語特区の指定を受けている。山中湖村では、小中学校での英語教育につなげるため、山中、平野両保育所でも英語を教えるのが特徴だ。

幼児は英語に親しむため歌や映像を中心にした教育を受ける。村教委は来年度、外国語指



小沢 甲吾、長田 哲也 (富士吉田)

野口 健介 (大月・上野原) 仲沢 篤志 (都留)

富士吉田支社 (0555)24-1000 FAX 23-6997

都留支局 (0554)45-8880 FAX 45-8880

大月・上野原支局 (0554)22-0477 FAX 23-2324

団体スタート 題に集中



真剣な表情で課題「春風點瀟」を書き上げる生徒
都留興譲館高
き上げた。友達同士で、提出作品を選ぶ様子も見られ

導助手(ALT)2人を雇用。小学校の授業科目に英語科、中学校の授業科目に英会話科を新設し、学年に応じて年20~50時間の授業を行う。保育所では2週間に1度、幼児がALTと遊びながら、生きた英語に触れる機会をつくる。

来年度に向け、村は19日、村役場で取り組みの説明会を実施。村内の教育関係者45人が参加し、村教委の担当者から目的や概要について説明を受けた。高村文教村長は「一人づくりが村づくりの基本になる。英語教育を通じて世界で通用する人材を育てることで、国際観光都市の実現につなげたい」と述べた。